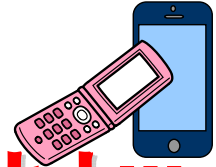


# 全国で 「自画撮り被害」が増加しています!!!

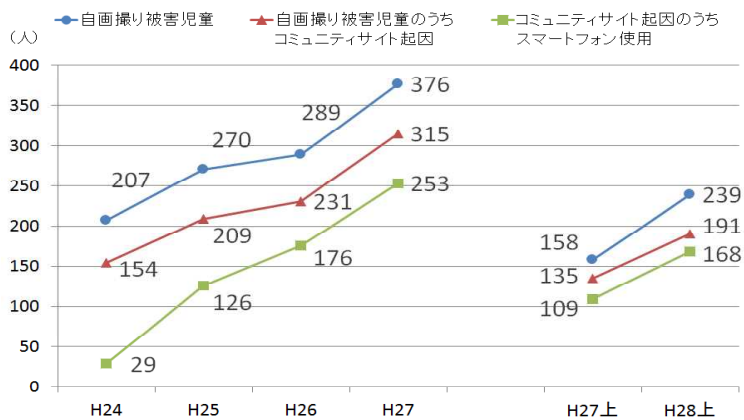


※ 「自画撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして児童が自分の裸体を撮影させられた上、メール等で送られる被害をいいます。

平成27年中に児童ポルノ事犯の自画撮り被害に遭った児童は376人であり、平成24年(207人)から毎年増加しています。平成28年上半期においても、239人と前年同期と比べ81人(51.3%)増加しています。

また、自画撮り被害は、コミュニティサイト(※)に起因するものが約8割を占めています。

自画撮り被害に遭った児童の推移



(※) SNS、プロフィールサイト等、ウェブサイト内で多数人とコミュニケーションがとれるウェブサイト等のうち、出会い系サイトを除いたものの総称。

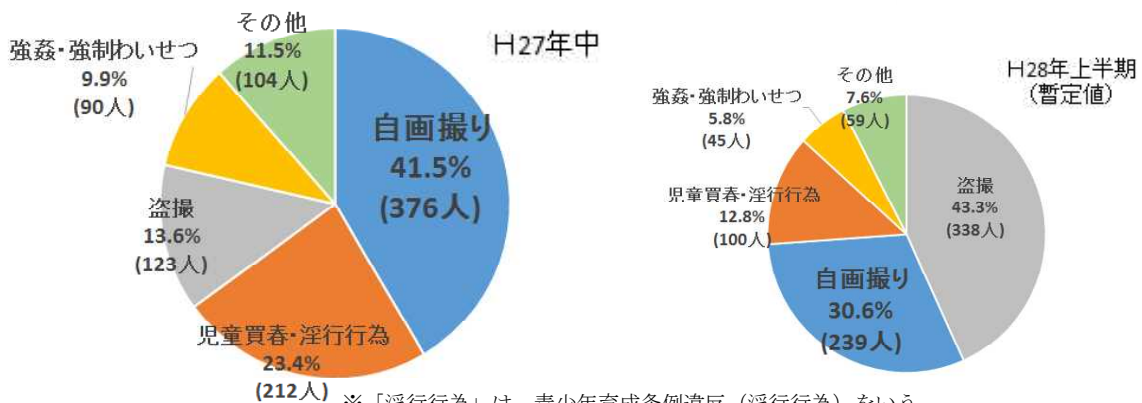
## ～被害児童の約4割が自画撮り被害～

被害態様別では、児童ポルノ事犯の被害児童の約4割が自画撮りの被害児童です(※)。

(※) 平成27年:41.5%、平成26年:38.7%、平成25年:41.8%、平成24年:39.0%

なお、平成28年上半期に盗撮の割合が増加したのは、同一機会に多数の児童が被害に遭った盗撮事件を検挙したためです。

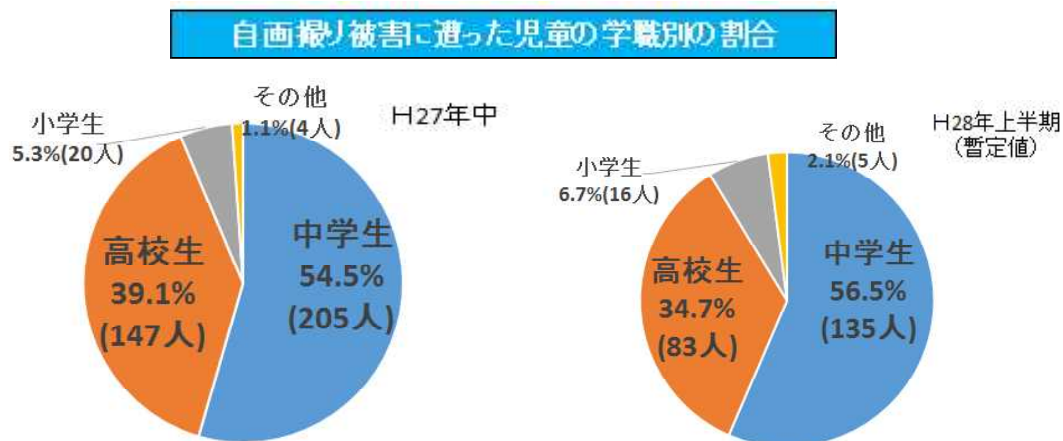
児童ポルノの被害態様別(製造手段別の割合)



※「淫行行為」は、青少年育成条例違反(淫行行為)をいう。

## ～自画撮りの被害児童の半数以上が中学生～

学職別では、平成27年中における自画撮りの被害児童の54.5%が中学生であり、39.1%が高校生です。平成28年上半期における自画撮りの被害児童の56.5%が中学生であり、34.7%が高校生です。



## ～「自画撮り被害」防止に向けて～

保護者の方は、お子さんが児童ポルノ事犯の自画撮りの被害に遭わないよう、以下のことに気をつけてください。

- 自分の裸をスマートフォン等で撮影してはならないこと。
- 交際相手、友達等の信用している相手であっても、自分の裸の写真を送ってはならないこと。とりわけ、面識のない者（SNSの相手等）に対しては、絶対に写真を送ってはならないこと。
- デジタル写真は、コピーが容易であり、一たび写真がインターネット上に流出すると、不特定多数の者に繰り返しコピーされ、すべての写真を削除することは非常に困難になること。
- 軽い気持ちで裸の写真を送ってしまうと、取り返しのつかない危険（被害）が生じてしまうおそれがあること。
- 友達等に裸の写真を送るよう求めたり、友達等の裸の写真を送ったりするほか、友達等の裸の写真をスマートフォンに保存した場合には、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の被疑者として検挙・補導されてしまうおそれがあること。

### 滋賀県警察本部少年課

(参考資料)

- STOP！ネット犯罪ーネットの世界は危険と隣り合わせ！ー  
(警察庁：リーフレット)
- インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発DVD(警察庁：DVD)